

Science Art Gallery

多面体フロアライト



ゾーン多面体とよばれるひし形多面体は、表面が一種類以上のひし形でおおわれています。ひし形に色をつけてフロアライトをデザインしました。3種類のひし形でおおわれる132面体は8回対称の花形が天頂と赤道線上で90°ごとに(4回対称)並んでいます。色彩のついた光が壁に映し出されます。また、半球ドームに映し出すと、多面体の表面のもようが、それだけでは見えない部分まで見えるので、表面タイルの面積がひろがって見えます。

132面体では、8回対称の花に、そのまわりを葉に見立て、花と葉の間に青空の色を塗ってみました。左上はドームに映し出された写真、右下は壁に映し出された写真で、手前が132面体ライトです。

渡辺泰成・志村和俊